

# 喘息改善症例

初診日：2004年3月11日

女性：初診時年齢 60歳

主訴：歯周病の治療をしてほしい 他院で治療中歯周病が改善しない

基礎疾患：喘息 高血圧 不整脈

使用禁忌薬剤：ブスコパン アスピリン キシロカイン

## その他の特記事項

非常に感染に弱い体質のため、予約は午前中の一番の予約で対応  
待合室で待たせないですぐに個室にて治療を開始した。(患者希望)

治療：アジスロマイシン処方後、除菌確認を行い歯周病治療(歯肉縁上の  
スケーリングのみ観血的な処置はできなかった)を行う。

抜歯は本人希望により不可。早期に歯周病を安定させて、  
残存歯牙の保存を図るために部分義歯で保定を行う。

内科主治医に歯周病治療前後の体調の変化について確認をしたところ、  
喘息がかなり改善したので驚いたとのコメントをいただいた。

歯周病治療前後での内科における治療内容に変化はなかった。

1



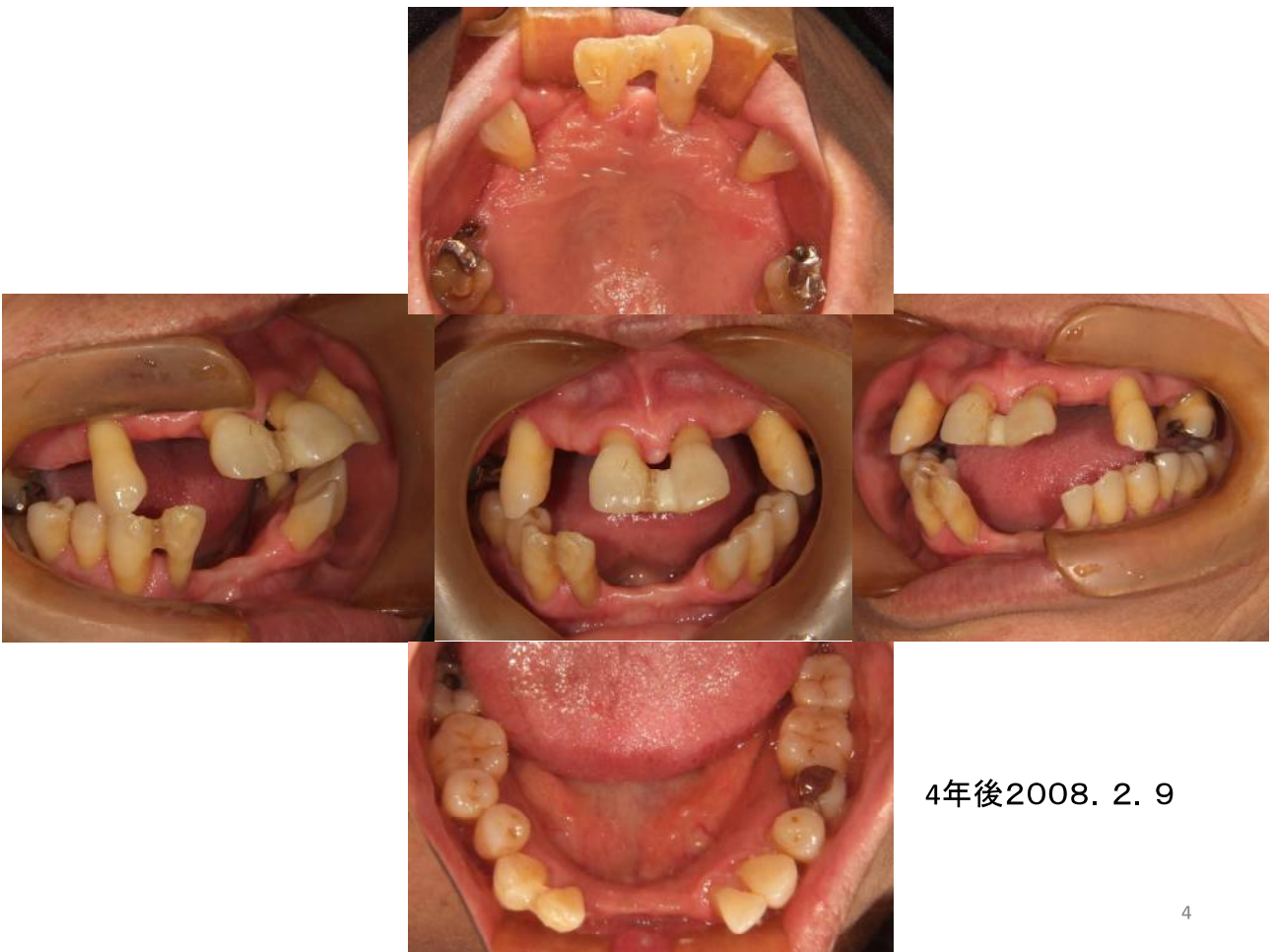
初診時2004. 3. 11

2



除菌後2004. 3. 16

3

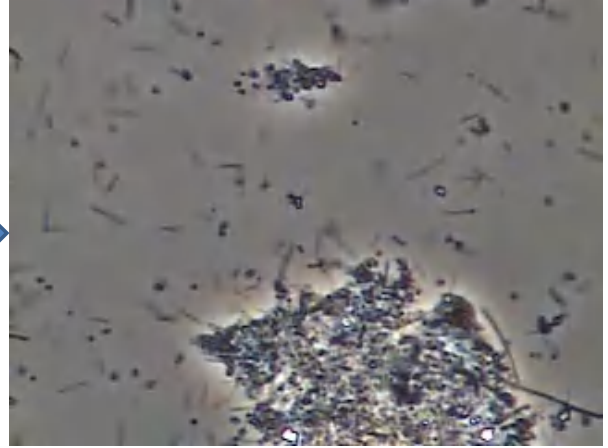


4年後2008. 2. 9

4

# 術前・術後の微生物叢の変化

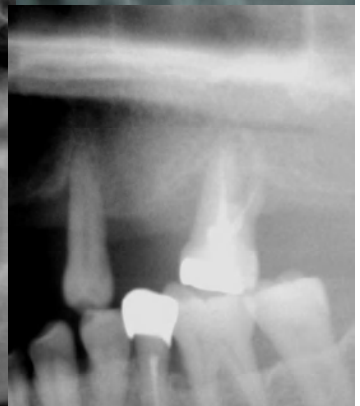
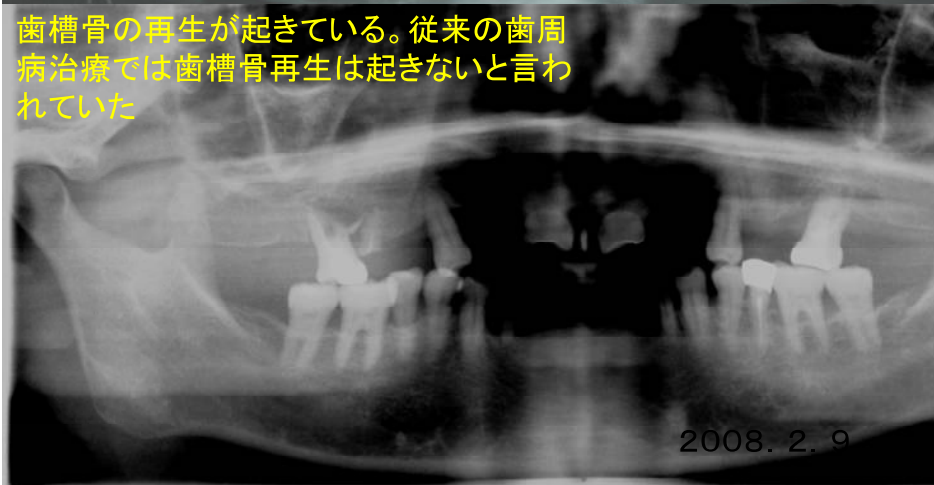
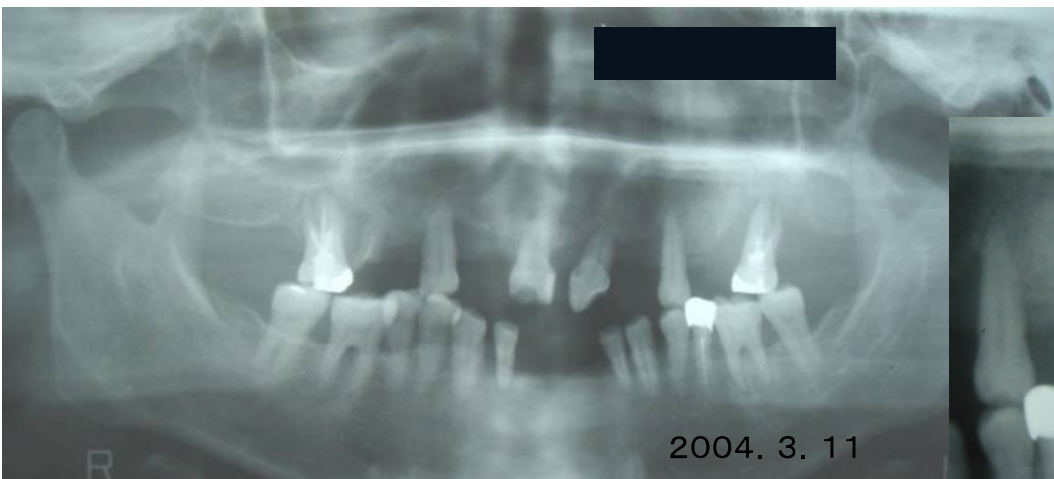
現在まで綺麗な微生物叢を維持している



2004. 3. 11

2004. 3. 16

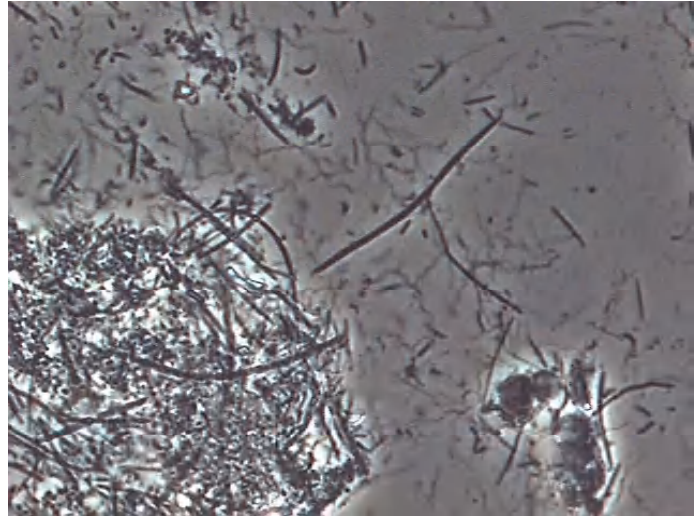
5



歯槽骨の再生が起きている。従来の歯周病治療では歯槽骨再生は起きないと言われていた

6

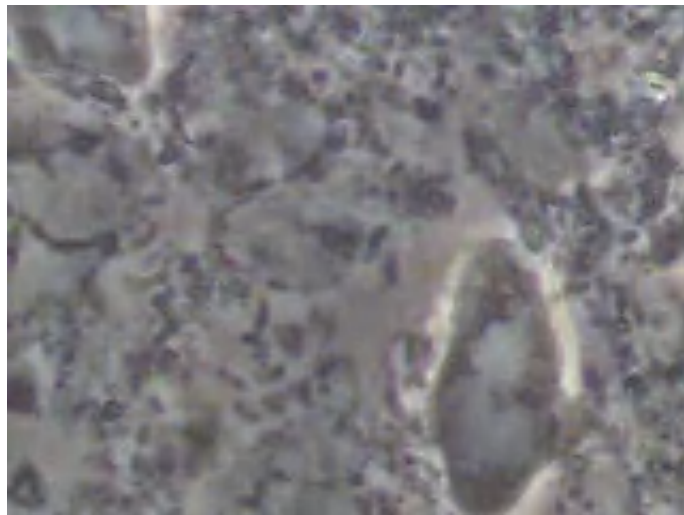
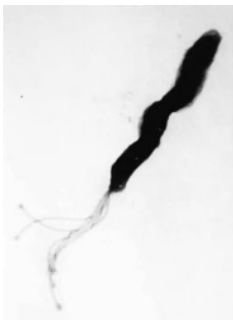
# HIV患者さんの口腔内と微生物叢



HIV患者さんの口腔微生物叢を動画保存できている症例は少ないと思います。  
何かの参考になればと思い提示しました。  
特徴としてはプラーク中に白血球がほとんどいないようです。

7

## これはピロリ菌？



8000倍位相差顕微鏡像

形態的にピロリ菌によく似ている細菌がいたので8000倍の高倍率で観察しました。このような細菌を同定する方法がありましたら、ご教授ください

8

## まとめ

- 口腔を介して感染する疾病は多い
- 歯周病は異性間で性感染することも多いかもしれない？
- 現在の歯周病治療は全身との関わりを無視して行われている可能性がある。
- 歯周病を治すことにより、改善する全身疾患がある。
- 口腔の健康を保つことにより、全身的な健康を維持できると感じている患者さんは多い。
- 歯周病をコントロール出来れば人類の健康に大きく寄与できる可能性がある。

9

ご静聴ありがとうございました



10